LIBERAL&DEMOCRATIC 自由民主

（昭和30年6月15日第三種郵便物認可） 号外

発行所
自由民主党本部
郵便番号 100－8910
東京都千代田区永田町1－11－23
電話 東京 03（3581）6211（代表）
定価 1部 108円（税込み）
＜毎週火曜日発行＞

自由民主党ホームページ URL http://www.jimin.jp/

ごあいさつ

平成31年4月7日の県議会議員選挙で初当選を果たしました。高崎市議会議員を4期16年務めてまいりましたが、まったく新しい舞台に立ち、気持ちを新たに元気に活動しています。

県議会では、厚生文化常任委員会、防災・減災対策特別委員会に所属し、高崎市はもとより、群馬県内の諸課題に取り組んでまいりました。

さる10月12日、13日の両日、台風19号が高崎市をはじめ県内各地に大きな被害をもたらしました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。一刻も早い復旧復興は、大きな使命と感じています。

今後も市民、県民の声をしっかりと県政にお届けし、身近な県議として皆さまのお役に立てるよう邁進してまいります。

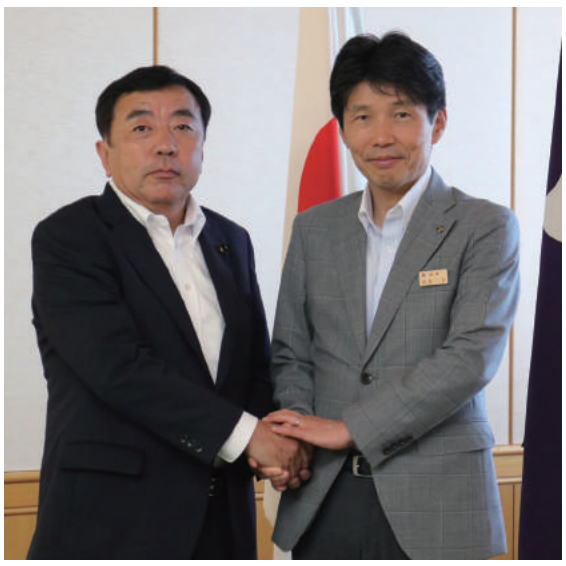
県議会◆シチズンシップアカデミー

学生に政治の役割語る

県議会第3回定例会が開催中の9月24日、松本基志県議は県内大学の学生と意見を交換しました＝**写真**。

学生から「人口減少対策で都市のコンパクト化を進めているか」「前橋より高崎が栄えている。新幹線のお陰か」などの質問を受け、松本県議は「高崎駅を核に東西で再開発を行い、公共施設も整備が進んだ」と、まちづくりと政治の関係を力説していました。

選挙権が18歳以上に拡大した平成27年から、県議会はシチズンシップアカデミーを開催、若年層に政治への関心を高めてもらう取組みを進めています。



知事と「群馬の発展」誓う

山本一太知事とは参議院選挙に初出馬する頃から交流しています。もう25年以上前でしょうか。「県の要」になられ、今後は是々非々で相対することがあるとはいえ、いつまでも本音で語りあおうと思っています。

市民と連れ立って知事室を訪れた際には、がっちり握手。「群馬を発展させたい、県民の幸福度を上げたい」という思いを感じました。

県議になって一カ月余り◆県議会
全県視線で一般質問に挑む
人口減少、Gメッセ、新町駅整備、防災対策など問う

令和元年第二回県議会は5月15日に開会。県議になって間もない5月27日、初の一般質問に臨みました＝**写真**。人口減少社会への対応や県の財政運営、障害者福祉施策など視界を全県に広げた内容を盛り込みました。思いは市議会議員時代とまったく変わらず、高崎市民はもとより県民の生活をより良くするためのテーマを選びました。質問と答弁の一端を紹介させていただきます。

雇用の創出は急務

松本　人口減少対策は喫緊の課題であり、さまざまな取組みが必要と考えている。今回は雇用の場の確保、雇用の創出に絞り、企業誘致や新たな産業の育成について、お聞きしたい。

産業経済部長　平成20年から都内で企業立地セミナーを開き、本県の優位性をアピールしてきました。企業誘致推進本部を設置し、推進補助金などの優遇措置を講じ、大きな効果を生んでおります。

産業の育成は、中小企業の技術開発や販路開拓など総合的な支援を通じ、雇用創出に結びつけております。Gメッセ群馬の開所を機にコンベンション関連産業についても支援を強化しています。今後とも企業誘致、新たな産業の育成に戦略的に取り組みます。

Gメッセを発展の核に

松本　Gメッセ群馬の活用についてお伺いしたい。周辺には高崎芸術劇場、高崎アリーナがある。来年4月の開業に向けて、各種イベントを誘致していくことになるが、3施設の連携とすみわけをどう考え、それぞれの強みをどう生かしていくのか。

コンベンション推進局長　3施設は用途が異なり、収容人数や利用形態も違う。近接エリアにそろうことで、スポーツ、音楽、展示会、学会なども開催できるコンベンションの幅が広がることを期待している。Gメッセ群馬と高崎芸術劇場の共通案内標識、案内サインの導入などを計画しており、施設間連携や利用の促進など、いっそう高崎市と連携してまいります。

松本　Gメッセ群馬を訪れた方に、県内全域を周遊していただけるよう、さらなる工夫をお願いしたい。

初の一般質問では障害者福祉政策も取り上げた。一般質問では手話通訳者が臨場した

新町駅整備は「まちづくり」

松本　JR高崎線の新町駅付近連続立体交差事業について、この事業は引退された関根圀男先生が長年取り組まれた課題でありますが、今後の予定をお伺いしたい。

県土整備部長　駅前広場やアクセス道路の整備などにかかわる問題ですが、高崎市、藤岡市、JRと連携し、令和4年度までに事業着手できるよう課題の解決に向けて努力してまいります。

松本　この事業は単に連続立体交差と捉えるのではなく、まちづくりをどう進めるかにかかわる。地域の活性化と住みよい環境をどうつくるかの視点で、よろしくお願いします。

CSF対策 県内発生の阻止に全力

自民党群馬県連はCSF（豚コレラ）対策と台風19号の被災対策に全力を挙げています。松本県議も両対策本部のメンバーとなり、「CSFが高崎、県内で発生しないよう努めてます」と話しています。

台風19号の豪雨で花卉栽培のビニールハウスが被災、落胆する農家から状況を聞き取る松本県議（上）
仙台市で開かれた防災イベントに参加（左）

地域防災力求める

松本　東日本大震災をはじめ、全国で発生する自然災害の現場で時間が許す限りボランティア活動をしてきました。地震、風水害、火山災害などへの県の取組状況をお聞きしたい。

危機管理官　県地域防災計画により災害ごとに対策を行なっています。災害の発生に迅速、的確に初動対応を図るため、365日24時間、情報収集や連絡体制を確保し、消防、警察、自衛隊など防災関係機関との連携も構築しています。

松本　自助、共助、公助とよく言われるが、初期対応は自助、共助によるところが大きい。地域防災力の向上の取組みはいかがか。

危機管理官　自分の身は自分で守る意識、お互い助け合う意識は大切で、自主防災組織の育成を重要な課題と捉えています。県は総合防災訓練や危機管理フェアなどで啓蒙し、防災士養成講座も開催しています。今後も自主防災組織の支援、各種施策の充実強化を進めます。

松本　東日本大震災に際して、釜石市の小中学生が日ごろの訓練を生かして自主的に避難して難を逃れました。「釜石の奇跡」と呼ばれていますが、防災教育の大切さを浮き彫りにしました。防災教育の現状をお尋ねしたい。

教育長　地震や風水害に対して、生徒がとるべき行動の内容や手順を具体的に危機管理マニュアルに定めています。防災教育はマニュアルに沿って学級活動や総合的な学習の時間で行い、いざという時に自分の身を自分で守る適切な行動がとれるよう指導しています。

松本基志事務所
〒370-0861
高崎市八千代町1-17-8
TEL 027(325)1727
FAX 027(321)7523